

回 覧													



しろくまだよい - 第28号 -



— 温暖化で絶滅の危機『しろくま』を救え in やつしろし —

編集 / 発行 2010. 11. 26 八代市環境課 TEL33-4114

みなさん、こんにちは。秋が駆け足で過ぎ去り、冬の気配が感じられる季節になりましたね。今年の冬は、平年並みの寒さになるとの予想がでていますが、冬の準備はお済みですか？

八代市は、球磨川や氷川、そして八代海など水資源に恵まれた地域といえます。そこで、今回は家庭排水と水質汚染の関係などについてお伝えします。

八代市の家庭排水の大半は、未処理のまま放流されています！

八代市の公共下水道の普及率は、約30%、合併処理浄化槽の普及率は約15%です（平成21年度実績、人口換算値）。このことから、市内の約半分の家庭の台所から出る排水は、何の処理もされないまま、排水路などに流れ込んでいることとなります。1軒から出る排水の量は、少量でも市内全体で考えると膨大な量が、毎日八代海に流れ込んでいます。これから考えれば、生活排水がいかに海の環境に大きな影響を与えているか分かりますよね。

てんぷら油などはそのまま流さないで！

八代市では、排水路などで、油の流出事故がたびたび発生しています。その多くは、家庭などから流された、使用済みのてんぷら油が原因です。油は、水の表面で薄く広がる性質があるため、少量でも、排水路一面に広がります。また、表面に広がった油は、色々なものを吸着し、水の表面に汚れた膜をつくります。この膜は、水中に沈むことはほとんど無く、表面を漂い続けます。

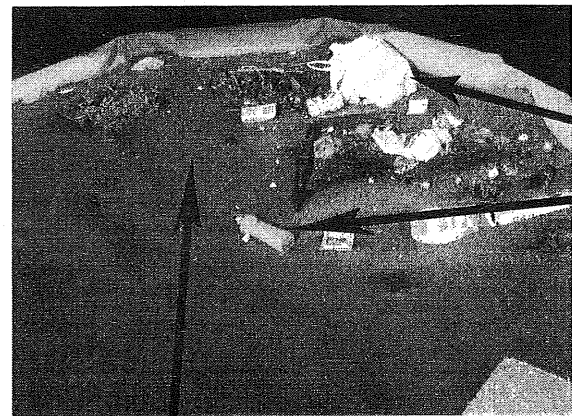
このように、油は、排水路などの水質や見た目を悪化させてしまいます。

八代市の河川や排水路を流れている水は、最終的には八代海に流れ込みます。

生活排水によって、水質が悪化したり、油による膜が大量に漂流したりすれば、魚介類の生息に悪影響をもたらすこととなります。

自分だけなら大丈夫だろうといった、安易な考えで、使用済みの油やごみなどを流すことはせず、『台所のすぐ先は、川や海なんだ』という気持ちをもって、油は新聞紙などに吸わせるなど、きちんと処理をするようにしましょう。

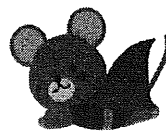
(八代の排水路の一例)



不法投棄されたごみ

油と汚れで出来た膜

殺鼠剤を無料配布します！



ネズミにごキョウ意を…

気温が下がる冬、ネズミは暖かい家屋の中へ侵入し繁殖する恐れがあります。ネズミは柱や壁だけではなく、電線・電話などのケーブルをかじることがあり、これにより漏電や最悪の場合火災などが発生することがあります。

また、汚れた場所にも出入りするため、感染症を引き起こす細菌やウイルスなどを媒介することもあります。

市では、12月から3月にかけて殺鼠剤を無料配布します。必要な方は、印鑑持参のうえ、下記の配布場所にお越しください。



配布場所	本庁環境課・支所市民福祉課（鏡支所については市民環境課）、最寄りの出張所・公民館
配布期間	平成22年12月6日（月）～ 平成23年3月31日（木）まで
配布数	各家庭3袋まで（1袋50g入）
問い合わせ先	本庁環境課 Tel 33-4114 又は各支所市民福祉課（鏡支所は市民環境課）まで

「きれいなまちづくり協定」を締結されている団体のご紹介

【団体名】 島田町町内会
【代表者】 会長 井村 英文
【主な美化活動の内容】

年2回の町内一斉清掃が行われるほか、老人会や農家組合など各方面の方々が町内の美化活動に取り組まれています。

老人会では、毎月、ごみ・空き缶拾いや公民館の草取りなどの清掃活動が行われています。そのほか、農家組合では年5回、用排水路の清掃や道路・空き地の草取りが行われています。このように町内で各団体が「きれいなまちづくり」という同じ目標に向かって取り組まれています。

【団体名】 新開新浜愛護会
【代表者】 会長 古原 久子
【主な美化活動の内容】

年間を通して、公民館と公園の草取りや落ち葉の清掃、公園内のトイレの清掃など、多いときには月20日ほど活動をされています。また、花壇の手入れも行き届き、いつもきれいな花を咲かせていらっしゃいます。

年2回の一斉清掃では、町内住民に呼びかけ公園の清掃を行うなど、地域住民に親しまれる公民館・公園を目指し努力されています。

来月は1月2日（日）が「やつしろ環境の日です！」

八代市では、毎月第1日曜日を『やつしろ環境の日』、『やつしろ健康の日』としています。地球が喜ぶ生活をおくること（CO₂ダイエット）は、私たちの体も喜ぶ生活（体重ダイエット）につながります。環境のこと、健康のことを考えた生活を楽しんでいきたいものですね……。